

校長室だより

黒部市立村椿小学校
文責：校長 寺島紀子
令和6年12月10日
第29号

いよいよ12月となり、2学期もラスト2週間となりました。先日、富山県内ではインフルエンザが流行期に入ったとのニュースがありました。健康管理にはくれぐれも注意していきたいものです。

児童玄関前にはこの季節らしく、いつもの島さんからのすてきなお心遣いによりゴールドクレストの鉢植えが置かれています。大きな星や飾りがついて、なかなか立派なクリスマスツリーです。卓上に「ゴールドクレストの花言葉は まっすぐに生きる 不変」という説明書きが添えられていて、その言葉が子供たちへのクリスマスプレゼントのようにも感じられます。島さんいつもありがとうございます。



12月10日は「世界人権デー」です

1948年12月10日に「世界人権宣言」が国連総会で採択されました。これを記念し、世界各国で人権にまつわる行事が行われています。日本では12月4日から10日までを人権週間としています。

今年度、本校では7~9月に人権の花運動、10月に「名水の里くろべ こどもの権利宣言」を確かめる全校集会を行ってきています。

★楽しくなかよく、人権について考えた集会

そして今回、9日（月）に計画委員会が改めて「人権集会」を企画してくれました。



まず「人権クイズ」では、〇×や番号で答える問題を通して、「人の容姿をからかうのは冗談でもよくないこと」「どのような理由があってもいじめはいけないこと」「男女の性差による決めつけや押しつけをしないこと」などを確かめることができました。6年生が実演した画像を使っ



たクイズは臨場感があり、低学年にも考えやすいように工夫されていました。次は、学校司書の村椿先生による『さっちゃんの手』の読み聞かせでした。生まれつき右手の指がない（先天性四肢障害の）主人公「さっちゃん」にまつわる物語でした。全校中が静かに落ち着いて話の内容を聴き、じっくりと考える時間になりました。そして続く全校「猛獣狩りゲーム」では、体育館内を子供たちが自由に動きながらグループ作りをしました。掛け声もだんだん大きくなり全校で盛り上がりました。感想タイムでは、進んで手を挙げて発表する子が何人もいました。クイズやゲームを楽しむことを通して「一人一人が大切にされること（人権の尊重）」を感じ取っていることが分かりました。

最後に「校長先生の話」の時間があり、私はアニメ『ちびまるこちゃん』を例に話をしました。ちびまるこちゃんの教室には、いろいろな子がいます。ひょうきんな子、ちょっとキザな子、テストで0点を取っても陽気な子、おこりんぼうやいばりんぼう、泣き虫、…。でも、「ちょっと変わっているから」と仲間はずれにされたりいじめられたりする子はいません。どの子もみんなに受け入れられ、教室の中に居場所があります。そういう教室、そういう学校を作っていけたらいいという思いを子供たちに伝えました。

クイズのナレーションが上手でした



画面の絵にも強く引き込まれました



楽しすぎて、変顔をしている子もいますが…

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名 ()

もう一つの「12月10日」 ご存じですよ？

それは「ノーベル賞の表彰式」です。スウェーデンの化学者アルフレッド・ノーベルが、自身のダイナマイトの発明で得た財産を「世界平和のために役立ててほしい」と遺言を残したことから、彼の命日である12月10日がノーベル賞表彰式の日となりました。

私は9日（月）に3年生の教室で、「10分で読める伝記」としてノーベルの話の読み聞かせをしました。耳だけでは難しい言葉もあったと思うのですが、3年生の子供たちは時折メモを取りながら、真剣に聞いてくれました。感想を聞くと、「ダイナマイトが戦争のために使われて、ノーベルは悲しかったと思う」「爆発で弟が死んでしまったけれど、ダイナマイトの研究を続けたノーベルはすごい」、また「ノーベル賞のノーベルが人の名前だと初めて知った」「日本人がたくさんノーベル賞をもらっていてすごい」などという感想がありました。



今年はノーベル平和賞に日本被団協（日本原水爆被害者団体協議会）が選ばれたことが大きな話題となりました。表彰式の様子もTVや新聞で大きく取り上げられることでしょう。是非ご家庭でもこうしたことをお子さんとの話題にしていいただければと思います。

シリーズ「教室におじゃまします」12月4日(水)5年家庭科の巻

この日は給食後の5・6限を使って「みそ汁づくり」の実習でした。私は前半の5限だけを取材しました。黒板に作り方の説明がびっしりと書かれてあり、

それを基に山本先生が大まかに流れを説明しました。教室での事前学習が済んでいたようですが、食材の切り方等は先生の実演をしっかり見ます。大根の皮のむき方、いちょう切りの方法、油揚げは？ネギは？と子供たちは真剣に説明を聞いていました。

今回の「だし」は煮干しでとります。真っ先に分量の水につけて準備をする必要があります。苦みのある頭と腹わたの部分を

みんなで取り除きますが、興味のある子はその頭を味見していました(!)「けっこうまい」という声も…。そもそも家では何でだしをとっているのかな、と何人かに聞いてみると「なんか粉のようなもの」という答えが多かったです。おそらく「〇〇だし」かな？

大根の皮むきやいちょう切りはほとんどの子がおっかなびっくり、油揚げを切ると「手がニチャニチャする!」、ほとんど未経験の子供たちにとっては、一つ一つがまさに学習です。そうこうしているうちに、山本先生が先行して火を点けていた「にぼしだし」のおなべから、少しずつおいしそうな湯気がたってきました。そっとのぞきこんで色やにおい、ふやけた煮干しの様子を観察する子もいました。ゆっくり実習が進んでいきました。



<おまけのひとりごと> 5年生の調理実習の日、私は6限目に別の仕事があり、「きっとおいしくできたよね？」と思いつつその場を離れました。さて、放課後になり山本先生がお味噌汁の入ったお鍋を職員室に運んでこられました。先生が説明用に別鍋で作っていたお味噌汁のようです。もちろん温め直してありそれはそれはいい香り。職員室では、そのお味噌汁を各自小さい器によそい分けて、おいしくいただきました。何人かの子供は顆粒だしと言っていましたが、昔ながらの煮干しだしもおいしいものですよ。地元でとれた雑魚を活用した煮干しだし。そういえば射水の方ではかつて白エビは「だしとり用」だったということです。今では考えられません。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！

校長室だよりへの感想

切り取り

できればお名前 or 児童名 ()